

■キャバクラ男子スタッフ業務マニュアル (キャバ嬢への接し方ポイント！)

男子スタッフは

キャバ嬢の
「女性脳」を

理解すべし！



○男子スタッフのキャバ嬢への接し方ポイント！

店舗営業は店長次第でお店の業績が大きく変わります。
特にキャバクラ営業の場合、商品であるキャバ嬢への接し方がとても重要で
キャバ嬢が不快に感じる接し方を男子スタッフがしているだけで、業績が簡単に悪化してしまう業種と言えます。
逆を言えば、キャバ嬢に心地よく接してくれる店長のいる店が、業績の良いお店となるのです。

また、キャバクラでは、キャバ嬢とお客様のトラブルなどがあった場合の為に男性の店長が多く
キャバ嬢の指導教育も男性店長や男性スタッフが行う事になりますので
女性特有の心理を知る事が必要不可欠な業種と言っても過言ではないでしょう。

・男と女の価値観は全く別物である！

多くの人が、自分自身の価値観で他人を判断してしまいます。
自分がしてもらっても嬉しくない事は相手も嬉しくないだろうと思いついでしまうのです。
しかし、実際に男性と女性は大きな違いがある事を忘れてはいけません。

例えば・・
男→女:「何が言いたいのか？よく解らない・・」
女→男:「どうして解ってくれないの！怒！！」

と言ったケースが多々あるのは、男性と女性の価値観の違いです。
女性は、自分に注目して欲しい生き物なので「解って欲しい！」という気持ちが男性の数倍強いのです。
男性からすれば女性は、とても面倒な生き物のように感じてしまいますが、これは男女の価値観の相違で
どうする事も出来ない為、初めから「女性は面倒な生き物」と思っておいた方が良いでしょう。

私の場合は、「女性は嘘つき」で「面倒な生き物」だと常々そう思っております。
そう思う事で、キャバクラ業務においてのストレスがかなり軽減されるのは間違いありません！

【目次】

○女の相談や愚痴は[共感]を求めている	3
○女は、気持ちを優先する！	6
○女は、解らない事をしたくない!	7
○女子キャストには、まめに声を掛けてあげましょう～	8
○女は叱られるのを極端に嫌がる生き物である	9
○女は、いつも解って欲しい！	10
○女の悩みは、共感するだけで解決する	11
○女は、男に言う事を聞いて欲しいと思っている！	12
○女は、小さな幸せをたくさん求めている	13
○女は、細かい事をいつまでも憶えている！	14
○女は、成功ではなく安定を求めている	15
○女性グループの一人を褒めてはいけない	17
○女は男を悪者にする	18
○男が理解できない女の自分優先思考	19
○女同士の関係を知っておく	20
○女性は、過程を褒めて欲しい	21
○女の涙は気にするな	22

○女の相談や愚痴は[共感]を求めている 1



男性は、女性から悩みや愚痴を聞かされると、なんとかその悩みを取り除こうと解決策を探します。従って、会話の内容は、相談する女子キャストの気持ちではなく解決策が中心となるでしょう。しかし！女性という生き物は、[共感]を求めがちになるので、まずは、自分の気持ちを解って欲しいのです。解決策を必死に考えている男性に対して「この男何もわかつちやないなあ～」とってしまいます。男性からすれば、あまりにも酷い話なのですが、女生とはそんな生き物なのです。

また、男性は物事をロジックで考えるので、感情で物事を考える女性の言葉は、時に意味不明に感じてしまいます。男性からすれば、どうでもいい内容の話を連呼されますが、面倒くさらずに、しっかりと聞いてあげましょう。

感情の明確化

相手が言語化できない気持ちを代わりに言葉にしてあげる。



『なんか最近バタバタとやたら忙しい日が続いてさあ～・・・
やっとひと段落したと思ったら・・・休日に何していいか解らなくなっちゃったんだよね～・・・』



×『そんな時は、のんびり温泉に行くと良いよ！』
×『俺なら、のんびり散歩したりするかな～？？』

女性は、解決策を求めていなかったりする・・・



○『わかる！わかる！忙しのが続いて急に暇になると～
なんか、どうしたらいいのかわからなくて、そのギャップに戸惑うよね！w』

解決策を求めていないので、ただただ共感するのが良い。

共感とは、相手の言葉を肯定的に受け止める事ですが、それ以前に、相手をよく理解する必要があります。感情で物事を考える女性に対して、理屈で物事を考える男性にとっては簡単な事ではないのでやはり女性に共感する努力が必要になります。

○女の相談や愚痴は[共感]を求めている2

共感の為の質問力

男性からすれば、どうでもいい話を、女性は日ごろから沢山しています。
困った事にそんなどうでもいい話を男性に振ってくるのが女性という生き物なのです。
そして、常に自分に注視して欲しいと思っているので、いい加減は返事をする途端に機嫌が悪くなったりします。
しっかりと受け止める訓練をしましょう！

女性は、感情で言葉を使い、男性は、ロジックに基づいて言葉を使うので
そもそも『会話』の定義が、男性と女性では全く違います。
男性からすれば『何を言いたいのか？』全く解らない言葉向けられるので、ホトホト返答に困り果ててしまうでしょう。
そんな時は、とりあえず『ちゃんと聞いてるよ！』アピールの質問をすると良いと思います。
重要なポイントは『共感』する事です！



『ディズニー行ってきたんだ～！』

《5w1Hの質問》 いつ？どこで？だれと？何を？なぜ？どのように？



『どっちに行ったの？』
『誰と行ったの？』
『いつ行ったの？』

《プラス感情を引き出す質問》

楽しい記憶を引き出す質問をして、気分を良く会話をするように心がける。



『楽しかったでしょ～何が一番楽しかった？』
『どのアトラクションがよかった？』
『パレードやショーも見て来た？』

《不安感情の共有質問》



『車で行ったの？運転大丈夫だった？』
『疲れてない？大丈夫？』
『アトラクションの待ち時間大変じゃなかった？』

多くの女性が、『自分を解って欲しい！』と思っているので
言葉の内容やその状況ではなく、その時抱いた感情を理解し共感して欲しいのです。

男性の場合、どうしても状況を理解を優先してしまい、女性が求める肝心な共感が抜け落ちてしまうので注意しましょう。

『自分を解って欲しい！』といくらそう思っても、誰にでも自分自身の気持ちを出せるものではありません。
自分を理解して欲しいと思っているのに、受け止めてもらえなかったり、否定されたりすると
余計に傷ついてしまうからです。
従って、話を聞く側の日々の態度を察する事が重要なポイントになります。

○女の相談や愚痴は[共感]を求めている3

共感を意識した受け答え

男性は、ロジックで物事を捉える為『共感して欲しい』と思う事があまりないので女性の共感欲求に応える事は、至難の業です！

話している時の態度仕草や視線などをしっかり見て気持ちを察して行くように対応しまた、相手の気持ちを汲み取った言葉をかける習慣を身に着けましょう。



『〇〇さんに、お前は解ってない！って連呼されてムカついたけど
なんとか我慢して、笑顔で返してやった！w』



×『何言ってるの？そんなの仕事だから当たり前じゃん！』



○『そうかそうか、よく頑張ったな！
納得いかない事を言われると気分悪いよな～でも、ちゃんと我慢できて偉いぞ！』

○女は、気持ちを優先する！



男性は、縦社会で生きているので、横の繋がりより縦の繋がりを重視して仕事をします。上司の言う事は絶対であり、たとえ嫌いな同僚とでも、上司の命令であればペアで仕事ができます。しかし、女性の場合は、横のつながりで生きているので、人間関係をとても重視しています。

男性の場合は、「狩り」をする本能があり、外から奪うという衝動にかられお金や地位や名誉を求めるので人間関係より仕事を優先しますが、逆に女性の場合は、「家庭を守る」という本能があるので仕事より身近な人とのつながりを優先して物事を考えます。

しかし、一般企業で友達同士を優先した人事は行わないので男性からすると女性が退職する理由が意味不明だったりする事があります。



「・・・すみません、色々考えたんですけど・・・辞めさせてください。」
(ゴメンナサイ・・・どうしても、A子と一緒に仕事したくないです。)



「はあ？？いきなり？なんで？ お店の何が不満なの？意味わかんない？？」

という経験をした事はないでしょうか？

指名をたくさん取る新人女子キャストが入店し、しばらく経ったら、一人辞め・・・また一人辞め・・・また一人・・・とせっかく優秀な女子キャストが入店してくれたのに、売上は激減し女子キャストの出勤人数が足りなくて困る事態になった経験はないでしょうか？いくら指名を取れる女子キャストでも、チームワークを乱すような女子キャストであればお店全体の売上が激減する事もあるのです。往々にして、そんな女子キャストは、指名が取れるだけあって男性の扱いに上手いので要注意です！

女性は、男性のように縦社会で生きていないので女性同士の人間関係が上手く行かない職場で働く事は男性の数倍苦痛です。

従って、常日頃から女子キャスト同士の状態をよく観察する必要があります。仲の良い女子キャスト同士は、好みが似ていたり、おかれた立場が似ていたりします。少なくとも指名でもない限りは、陰悪な女子キャスト同士を同じテーブルに着けないようにした方が良いでしょう。

○女は、解らない事をしたくない!



女性は、仕事で新しい事をする時に、周りに迷惑をかけてはいけなそう思ってしまうので常に間違いやミスを恐れた状態で物事を判断してしまいます。これは、横の繋がりを大切にしようとしている表れです。男性のようにチャレンジ精神が旺盛でないという事を知っておきましょう。

新人女子キャストの指導時には、ミスや間違いをしても大丈夫だという事をしっかり言葉で伝えるようにしまた、お客様のテーブルへ着ける時には、「新人なので、ミスは大目に見てあげて下さい」と一言添えるだけでかなり安心して、接客ができるようになります。



- 『男性は、ミスをする娘を守ってあげたいと思う生き物なので心配しなくても大丈夫だよ。』
- 『困った事があつたら、ちゃんと伝えてね。』
- 『帰る前に、声かけてね。解らなかつた事を確認しておきたいから。』
- 『失敗しても大丈夫だよ。初めてで失敗しない娘なんていないしね。w』



- ×『え? それくらい自分で考えてよね!』

男性は、解らない事でも自分で考えて物事を進めますが、女性は解らない事はしたくないと思っています。女性は横のつながりを大切にするので、周りの人に迷惑をかけたくないと思う気持ちが、男性より強いのです。男性からすると、ちょっとした事をいちいち質問してくる女性を「それくらい自分で考えるよ!」と思ってしまうでしょうがそこは、面倒くさがらずに丁寧に説明してある必要があります。

○女子キャストには、まめに声を掛けてあげましょう～



女性は、自分自身の存在価値をとて気にする生き物です。
男性のように、細かく指示されると「うるさいな～ほっといてくれよ！」とは思わず
女性の場合は「ちゃんと気にかけてくれている」と思うのです。

また、男性の場合は、ミスをしたも、チャレンジした事を評価しますが
女性の場合は自分の存在価値を優先した思考なので、失敗やミスを恐れます。

男性なら母親が出かけに「○○は持った？○○は大丈夫？○○はちゃんとした？○○は？..○○は？..」と
いちいち細かく聞いてくる事に『ウザい！』と思った事があると思うのですが
女性は、自分に気に掛けてくれる事が嬉しいのです。
逆に、声を掛けられないと、自分に存在価値がないのでは？と思い不安になったりします。

従って放置されると、この店で、自分の存在価値はないのだろうか？と
不安になってしまうのが女性という生き物なので
女子キャストには、まめに声をかけてあげましょう。定期的に個人面談をするのも効果的です。



『おはよう～毎日出勤ありがとね～助かるよ～』
『髪切った？素敵じゃん～』
『あっ！そのキャラクター俺も持ってる。格好いいよね』
『そのブランドってお洒落だよ～どこで買ったの？』
『その色のドレスよく似合うね』
『持ち物のセンスいいよね。今度、俺にも選んでよ！』

挨拶は、もちろん！まめに声を掛けてあげましょう！

○女は叱られるのを極端に嫌がる生き物である



男性は、常に意識を外に向けているので、叱られても「ミス指摘された」「次に活かそう！」そう思うのですが女性の場合は、常に意識を自分に向けており、男性より『認めて欲しい』という感情が強いのでその真逆にある『叱られる』という行為は、特に嫌な感情を抱きます。

「そんな言い方しなくても良いのに！怖いからやめて！」と思ってしまうのです。同性の女性から叱られるより、男性から叱られる方が、数倍嫌な気持ちになってしまいます。一旦、そうなると、その体験をいつまでも覚えており、その相手に中々心を開く事が出来なくなります。また、自分が嫌われているとそう思ってしまう避けられる事もあるので気をつけましょう！

女子キャストを叱る時は・・・



『○○する時は、○○した方が、周りに迷惑がかからないよね。次回から気を付けようね。』
『○○すると、○○ちゃんが困っちゃうよね。次回からその辺も考えて接客しようね。』

女子キャストを叱る時は、怒鳴りつけてはいけません。感情的にならず、諭すように注意しましょう！また、女性は、男性と違い、周りに迷惑をかける事を無意識に失敗を恐れているので「失敗するのは当たり前」「失敗しても大丈夫」と思わせるよう接しましょう。

○女は、いつも解って欲しい！



女子キャスト同士の会話を観察していると、容姿や持ち物を日常的に褒め合っています。

「わ～！その服カワイイ！どこで買ったの？！！」

「キャ～！その髪型素敵～！！よく似合ってる～！！」

と、女性たちのこんな話声を耳にした事はないでしょうか？

男性からすれば、理解に苦しむ言動に思えるのですが、女性は、「わかって欲しい」という欲求が男性より強いのでお互いに認め合い自分の価値を確認し合う事で、安心を得ているのです。

従って、男子スタッフは、普段と違う女子キャストの変化には注意する必要があります。

自分の変化に気付いてもらえると、『ちゃんと自分を見てくれてる！』と思えるのですが

逆に自分の変化に気付いてもらえないだけで、『自分に存在価値がない』とそう思うてしまう事があるのです。

ちょっとした事を褒め合うのが女性なので、必ず一言褒める言葉をかけましょう。

・持ち物を褒める

「そのバッグ、素敵だね。」「そのブレスレットよく似合ってるよ。」

・髪型や服装など外見を褒める

「髪切ったんだね。よく似合ってる。カワイイよ。」「そのコート高かったんじゃない？似合ってる。カッコイイよ。」

・仕草・動作・印象を褒める

「○○ちゃんってさあ～なんか清潔感があっていいよね。いい嫁になるね。」

「いや～その仕草、色気があって男には刺激が強いわ。w」

・行動を褒める

「いつもよく周り見てるよね～さすがだわ！俺も見習わなくっちゃ！」

「○○ちゃんのミスにすかさずフォローできるって、凄いね。俺なら見て見ぬふりしたな・・・」

・考え方を褒める

「その考え方凄いね！キャバ嬢にしとくの勿体ないよ。でも、辞めちゃだめだよ。困るから。」



『沖縄に遊びに行ってきたからお土産買ってきたヨ！』



○『さすが、○○ちゃん！男子スタッフにまで気遣ってくれるなんて、ありがとう！』



×『あっ、そうなんだ・・・ありがとう～』

そっけない「ありがとう」は、「え？それだけ？感じワル～」と思われてしまうので、しっかり言葉を選んでお礼を伝えましょう！

○女の悩みは、共感するだけで解決する



女性は、話をする中で問題を整理し不安を解消していくので、話を聞いて共感してあげる事が大切です。
例えば、女子キャストが「○○さんが嫌だから辞めます！」と言ってきたら
男性は、「どんな問題が起きたのか？」「何を解決しないといけないのか？」と、問題を解決する方法を考えてしまい
「君にも問題があるんじゃないのか？」「そんな事、気にする必要ないだろ？」とか
「そういう時は、○○をして対処すればいいよ！」とか・・・そんな言葉を向けてしまうのが男性です。

しかし、実際には、ただ話を聞いて欲しいだけだったりするのが女性なのです。(男性からすれば、超面倒な事ですが・・・)
なので、「そうなんだ」「わかる、わかる大変だったね」と共感してあげる事で
「ありがたう！話を聞いてくれて！もう少し頑張ってみる！」と、問題が解決したりします。

「アドバイスをしない」

男は、話の結論を求めるので、つつい〇〇したらいいんじゃない？とアドバイスしがちですが
女の会話で求めているのは、ただの共感なので、アドバイスは不要であり、上から目線と感じてしまうだけなのです。

「会話中に他の事を考えない」

男性にとって、「だから？どうしたいの？」というような意味不明な話を、盛り上がって話すのが女性です。
当然、男性からすれば、つまらない話だと思ってしまうので、よそ事を考えたりしがちですが
感受性の高い女性は、「話を聞いていない」事を明確にキャッチしています。
人の話を聞かない男として認識されてしまうと、女子キャストからの信用を失ってしまうので気を付けましょう。



『最近、しつこいお客さんが多くてさあ～面倒だし困るんだよね～』



×『えっ！それ大変じゃん！我慢できないならちゃんと断った方がいいよ！』



○『そうなんだ～面倒だよね～
仕事だから頑張らないといけないけど、心が疲労してくると減入ってくるよね。』

○女は、男に言う事を聞いて欲しいと思っている！



女性は、自分の価値を高めようとする思考が働くので、自分の存在価値をいつも気にしています。なので、自分のお願いを放置されたり、後回しにされると、不安になってしまうのです。男性からすれば、「すぐ出来ない事くらい見ればわかるだろ！」と、思ってしまうのですが女性は、後回しにされると自分の価値が低いと感じ、不満を抱いてしまいます。

女子キャストからのお願い事は、出来るだけ早くやってあげるようにしましょう。どうしても、すぐに出来ない場合は、「ちゃんと聞いてるよ！」アピールをしすぐに出来ない事をしっかりと伝える必要があります。



『なんで、すぐにやってくれないの！！』



○『すぐ出来ないからちょっと待っててね。レジ締め終わってからよるから〜』
○『閉店後で大丈夫？ 今日中に書類まとめて事務所に提出しないといけないだよ〜』



×『わかってる！後でやっておくよ！』

すぐに出来ない時は、ちゃんとその理由を伝えて、いつできるか？も伝えるようにしましょう〜

○女は、小さな幸せをたくさん求めている



男性は、一つの大きな幸せを求める生き物ですが、女性は小さな幸せをたくさん求めるので女子キャストに大きな目標を強要しても、あまり心に響きません。毎日の小さな幸せを求めるのが、女性という生き物なのです。

男性の場合、高い目標を掲げてしまうので、1つの指名を取ったくらいで褒めて貰ってもそんなに嬉しくないのですが、女性の場合は、一つひとつの前進が、いちいち嬉しいものなのです。

前回、場内指名してくれたお客様が、本指名で来店してくれた時には、しっかりと褒めてあげて喜びを共感しましょう。本当に些細なことで、嬉しいのが女性なので、色々実践してみると女性脳を理解できると思います。

例えば、食べ物の美味しいお店を教えて貰ったら、実際にそのお店に行き美味しいと言っていた食べ物をテイクアウトして渡してあげるだけでも喜んでもらえると思います。「ちゃんと自分の事を気にかけてくれる！」と、安心するのが、女性なのです。

○女は、細かい事をいつまでも憶えている！



男性は、チャレンジ精神が旺盛なので、女性より失敗が多く、そのストレスを解消する為に嫌な出来事は比較的忘れやすい思考をしていますが女性は、常に失敗を恐れている為に出来事を感情と結び付けて記憶しており、嫌だった出来事はいつまでも憶えています。

女性と口論になった時「言った・言わない」「した・しない」「この前も言ったのに！」「あの時も○○だった！」と口撃されます。男性からすれば、「いつの話してるんだ？細かい事をいちいちうるせ～な！」と思ってしまうのですがそこは女性脳を理解してあげると良いと思います。

また、男性が「ごめんなさい」と謝る時は、自分の過ちを認めた時なのですが女性の「ごめんなさい」は、「怒らせてしまった」事に対しての「ごめんなさい」なので自分の過ちを認めたわけではないケースが多々ある事も知っておく必要があります。

男性は、お互いに「ごめんなさい」をすれば、その件は、終わった事で記憶から無くなりますが女性の「ごめんなさい」は、「怒らせてしまった」事に対しての「ごめんなさい」なので自分の過ちを認めたわけではないケースが多々ある事も知っておく必要があります。

男性は、お互いに「ごめんなさい」をすれば、その件は、終わった事で記憶から無くなりますが女性の場合は、「怒らせてしまった事」への「ごめんなさい」なので何も解決しておらず「終わっていない」のです。従って、女性の中では永遠に続いている事柄の為、10年経っても、しっかりと記憶している事を忘れてはいけません！

女子キャストと口論になった場合は、自分に記憶がない事で責められ納得できないとは思いますが「とりあえず謝る」ようにしましょう。全く記憶にない事を責められても、どうしようもないからです。

○女は、成功ではなく安定を求めている1



女性には、子供を産んで育てる役割を本能として持っている為、危険なリスクを避ける思考をしています。逆に男性は、争いの中で獲物を捕まえる役割を本能としている為、リスクのない生活はストレスになります。どこかで「一発当ててヒーローになりたい!」と、思ってしまうのが男性脳です。

よくキャバクラはキャバ嬢が稼ぐ為の場所だと言いますが、そこばかりを気にしていると女子キャストとのすれ違いが生じてしまいます。確かに、稼ぐ為に働いてはいるのですが、殆どのキャバ嬢は、別にお店のNO1になりたいわけではないのです。全ての女子キャストがそうだとは、言いませんが、リスクより安定を求めているのが女性なので安定して稼ぎたいと思っている方が、多いのです。

よく憧れの女優や芸能人の女性が、お金持ちを結婚する報道を見たりすると、「結局は金か〜…」と男性は幻滅したりするのですが、安定を求める女性からすれば、当たり前の事なのです。

女性の場合は、自分の価値を高めたいとは思っていますが、キラキラ輝いていただけで競争に勝ちたいわけではないのです。お店でNO1になって目立つ事より他の女子キャストと仲良くする事を優先するので競争意識は男性よりかなり低いと思った方が良いでしょう。男性がギャンブルにハマるのは、勝負事が好きな為であり、女性は勝負事にハマったりしません。

○女は、成功ではなく安定を求めている2



女子キャストの成績ランキングを張り出し、やる気を出させようとする店もありますが女性心理を全く考えない昭和的発想と言えます。成績ランキングの公開は、男性には効果がありますが女性特有の心理的には、逆効果になる場合が多くあるのです。

男性の場合は、優秀な成績を収めれば、やる気になったり「どうだ！おれって凄だろ！」となりますが女性の場合は横のつながりを優先するので「こんなに目立ってしまって、周りになんて思われるかなあ・・・」とってしまうのです。中には男っぽい女性もいるので、全ての女性が当てはまるわけではありませんが女性の心理からすれば、成績を貼り出したところで、思った以上に効果はないでしょうし気づかないだけで優秀な女子キャストを確保しにくい店にしている可能性があるのです。

実際に色々なお店でのNOクラス的女子キャストに成績の張り出しについて伺った所「やめて欲しい！」という意見しか聞く事ができませんでした。具体的に何が嫌なのか？を確認した所、「目立ちたくない」「嫌がらせされる」「稼ぎにくくなる」という意見が殆どでした。



- ・「あの娘、指名が多いから指名しても着いてくれないよ」って邪魔されるんでやめて欲しい・・・
- ・自分の頑張りが認められるのは、嬉しいけど・・・やっぱ周りの目が気になるから、陰で褒めて欲しい・・・
- ・せっかく頑張ってるのに、周りから嫌味を言われるの嫌じゃんね？頑張る気が失せるからやめて欲しい・・・
- ・お客様の前で「稼いでるんだから奢ってあげたら？」とか言われるじゃん！マジでやめて欲しい！・・・

と言うような意見を伺いました。

私の場合は、男なのでランキングの張り出しは、頑張ろうとする意欲につながります。全体の中でどれくらいの位置づけなのか？知りたいですし、NO1を狙って頑張ろう！とかそう思うのですが、実際に成績の良いキャバ嬢に伺った限りでは、賛同する女子キャストは、一人もいませんでした。

逆に足の引っ張り合いになるとは、思ってもいませんでしたし女性の世界は、男性が思っている以上恐ろしい世界なのかもしれません・・・

○女性グループの一人を褒めてはいけない



女性は、横並び気質なので、グループ内で一人を褒めると空気が悪くなり皆のテンションも下がります。自分の存在価値を重視する女性特有の感性で、グループの中で一人を褒めると他の女性はけなされていると感じてしまうのです。みんな仲良く同列でないといけないのです。

男性からすれば、とても面倒な事ですが、女性グループで「この中で、誰が好き？」とか平気で聞いてくるので男性は、真剣に受け止めて考えてしまう気質があるので、要注意です！
そんな時は、本音は言わずに「みんな可愛くて、選べないよ〜♡」と、軽く流しておきましょう。



『3人のうち誰が好みのタイプ??』



×『ん〜ナナさんがタイプかなあ〜』



○『え〜！みんな可愛いから、一人を選べないよ〜』

○女は男を悪者にする



キャバクラ働く男子スタッフなら、一度は経験する事だと思いますが、女子キャストから意味の解らない事で責められる事があります。全くもって理不尽な言いがかりなのですが残念ながら女性とは、そんな生き物なのだと、思うしか方法がありません。

女性は、自分自身の存在価値を優先して物事を考え、そして女性同士の横の繋がりを重視します。従って、どれだけ自分に非があっても「男を悪者」にしたくなる生き物なのです。

男性からすれば、勘弁してくれよ〜って思ってしまうでしょうが女性は、自分に非がある事を解った上での暴言なので、責められる内容にいちいち反応して反論しても無駄な徒労となってしまいますので、どんな理不尽な言いがかりも、しっかりと受け止めてあげましょう。



『ちょっと、どうなってんの! ちゃんとしてくれないと困るんだけど!』



×『え! なんで? 俺は関係ないだろ!』



○『ごめんね! 次からちゃんと気を付けるよ。』

○男が理解できない女の自分優先思考



女性は、無意識に自分の存在価値優先で物事を判断している為
男性には常に自分を大切にしたいと思っています。
逆に男性は、仕事優先で物事を判断するので忙しい時は、女性に気を使えなくなります。

男子スタッフは、『女子キャストは、お店側＝自分側』と考えるので、女子キャストより、お客様を優先して業務をこなしてゆきます。男性からすれば、それは至極当然の事です。

しかし、自分の存在価値優先で物事を判断する女子キャストは
男子スタッフには、常にお客様より自分を優先して欲しいと思っているので要注意です。

女子キャストは、男子スタッフは、自分側だと思っているので
、お客様より一緒に働いている自分を優先してくれるのは、当たり前だと思っているのです。



『仕事なんだから！お客様を優先するのは当たり前だろ！』



『一緒に働いているんだから、私を優先するのは当たり前でしょ！』

○女同士の関係を知っておく



男性は縦社会ですが、女性は横社会なので、「みんな仲良し」でなくてはならない、とそう思っています。男性からすれば、女性は派閥を作ってバチバチやっているように見えるので到底そうは思えないのですが、でも根本は「仲良くしなければいけない」という話の合わない女性と仲良くしている振りをする事がたくさんあります。

また無意識に、女性は男性より弱い立場という意識が働き、グループなって口撃してくることもあります。全員一致で、同じ意見ではない事が多々ありますので、注意しましょう！仕方なく一緒に付いてきている場合もあるのです。

男子スタッフは、その判断を誤ると、女子キャスト個人の言っている事がコロコロ変わってどの言葉を信じて判断すれば良いのか？全く解らなくなります。グループでの意見、女子キャスト個人での意見が、全く違う事が多々あるので一人ひとりをよく観察する必要があります。

○女性は、過程を褒めて欲しい

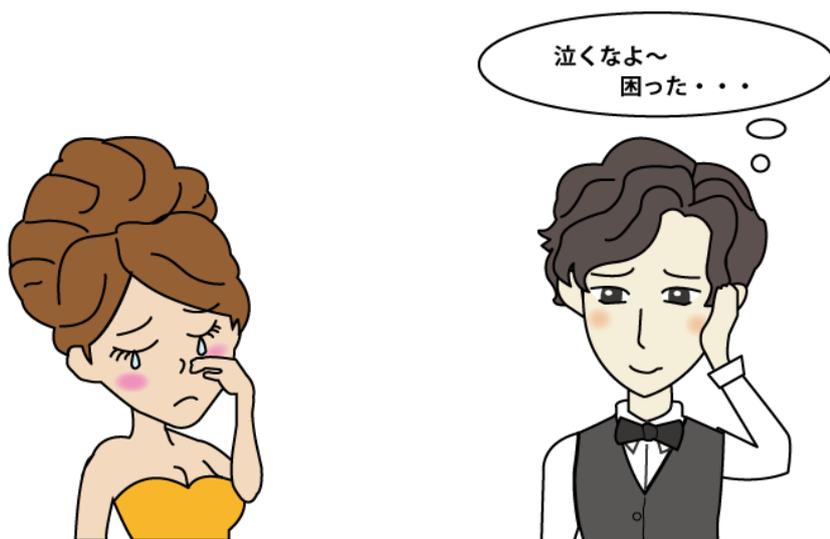


仕事において男性は、結果を重視します。どんな過程であろうと結果が伴わなければ評価しません。実際の業績も数値で実感したいので、仮にお店でNO1になったとしても、NO2と大きな差が欲しいのが男性です。

しかし、女性は、結果よりプロセスを重視するので、勝利の喜びは男性より小さいものです。むしろ、結果を残す為に一生懸命頑張った事に重視するので一生懸命頑張っている女子キャストに指名が取れない事ばかり指摘しているとどんどんやる気が失せてしまうので、まずは頑張っている事をしっかり褒めてあげるようにしましょう。

男子スタッフからすれば、指名が取れる女子キャストがいなければ、お店の売上にならないのでどうしてもお客様を呼ぶ力のある女子キャストばかり気になりますがNOクラスの女子キャストが沢山のお客様を呼ぶ為には、どうしてもヘルプの女子キャストが必要不可欠です。指名が取れない女子キャストでも、ヘルプの接客で頑張っていれば、しっかり褒める事を忘れてはいけません。

○女の涙は気にするな



男は、女の涙にとっても弱く、つつい放っておけなくなりますが、女の涙は、そんなに気にする必要はありません。女性は男性より感受性が強いので、色々な感情が込み上げてくる生き物なのです。目の前で、女子キャストに泣かれると、男は焦ってしまいますが、そっとしてあげるのが良いでしょう。

間違っても・・・
なんで泣くの？と聞いたり
泣くなよ！と怒ったり
泣かないで！とお願いしたり
〇〇で泣いてるんでしょ！と、理由を当てにいたり
しないようにしましょう。

男性が思うほど深刻な状態ではないのです。

面倒くせ〜!

